

**エネルギー強靱化に関する AZEC+オンライン首脳会合
議長声明(仮訳)**

2026年4月15日、高市早苗総理大臣の主催により、アジア・ゼロエミッション共同体(AZEC)パートナー、アジア各国の首脳及び代表者並びに主要な国際機関とのオンライン会合が開催され、現下のエネルギー・資源の供給懸念及び各国のエネルギー強靱化に向けた対応について議論しました。会合は高市総理が議長を務め、オーストラリア、バングラデシュ人民共和国、ブルネイ・ダルサラーム国、カンボジア王国、インド共和国、インドネシア共和国、大韓民国、ラオス人民民主共和国、マレーシア、フィリピン共和国、シンガポール共和国、スリランカ民主社会主義共和国、タイ王国、東ティモール民主共和国、ベトナム社会主義共和国の首脳ら及びアジア開発銀行(ADB)、東アジア・アセアン経済研究センター(ERIA)、国際エネルギー機関(IEA)の代表が参加しました。

会合において参加国は、ホルムズ海峡を経由するエネルギー資源の供給が滞ることによって最も影響を受ける地域はアジアであることを認識し、同海峡の安全な航行の確保が重要であることで一致しました。

また、アジア経済がサプライチェーンを通じて深く相互に連結していることから、アジア各国による共同の取組の重要性についても一致しました。

参加国は、会合において日本から発表された、地域のエネルギー・資源供給の強靱性をさらに強化するためのアジア・エネルギー・資源供給力強靱化パートナーシップ(パワー・アジア)を歓迎しました。AZECパートナーは、経済とエネルギーの強靱性の視点を加えた形で既存のAZECを進化させていくことの重要性を確認しました。

(了)